

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるよう!

私たちは地域・職域・学校など、
生活のいろいろな場面で
「健康寿命」をのばす運動を
実践しています。



(平成8年5月20日第三種郵便物認可)

2005(平成17)年1月15日 第383号

(財)東京都予防医学協会
(財)予防医学事業中央会東京都支部
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭

発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1の2
保健会館 電話03(3269)1131
http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行 年間購読料300円(1部30円)

2005年の年頭によせて



東京都医師会

会長 唐澤祥人



新年明けましておめでとございます。本年も東京都医師会の会務運営につきまして宜しくご支援の程をお願い申し上げます。

昨年は自然災害が多発し、多くの被害を受けました。ことに大震災に襲われた新潟県の被災者の方々の、一刻も早い復興を祈念するものであります。災害は予告なく襲います。常に適切な対策が必要ですが、被害をなくすために地域の共生の観念を培い、最大限の防災対策を確立すべきであります。

さて昨今の地域の安全対策と社会状況であります。構造的に都市の過密、農山村の過疎など要因は一層複雑化し

東京都福祉保健局

技監 梶山純一



新年、明けましておめでとございます。読者の皆様方には、日頃から東京都の保健医療福祉行政にご理解とご協力をいただいておりますことを、紙面をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。どうぞ、本年もよろしくお願いいたします。

さて昨年は、アテネオリンピックでの

都民の安全と安心の確保が最重点課題

た台風による全国各地での水害の発生や新潟県中越地震など、自然災害の爪痕の大きさはないうちに、保健・医療分野を所管する「健康局」と、福祉分野を所管する「福祉局」とが統合され、新たな「福祉保健局」が「右肩上がり」を前提とした活を一瞬、誕生いたしました。このうちに、「都民の安全と安心の確保」は福祉保健局における最重点課題の一つですが、一昨年来のSARSや高病原性鳥インフルエンザなどの感染症対策の改革が喫緊の課題となつております。

福祉保健局は、関係者の皆様方とこれまで以上に

日本人選手の大活躍などの明るい話題もありました。が、やはり記憶に残るのは数多くの上陸した災害などが起こらないことを願うだけでは、健康危機に適切に対応していき。十分な事前の準備、正に「備えあれば、憂興感染症への万全の備えを無しの」の、新たな保健医療・福祉サービスを一体的に提供し、皆様方から、統合して良かったと評価していただくよう、引き続き全力

長寿社会を突りあるものに

策の根幹であること

は、生存を保障する包括的社会保障制度の存在が関与し、生命の危機を護る医療制度と心身の健康増進策の確保である。すなわち幼小児から高齢者まで全世代が積極的に参加できる保健事業の活性化であります。と、かく景気対策であります。と、かく景気対策の延伸策を敷衍して、生き生きとした価値ある長寿社会を上げます。

● 今月の主な紙面 ●

- 1面 2005年の年頭によせて
- 2面 「産業医訪問」第62回
新刊紹介 / 『日頃気になる 体のあのこと この症状』
連載「『いびき』よもやま話」第4回
- 3面 連載「健康教育放浪記」第9回
健康づくり・健康増進を支援するページ 第16回
- 4面 2月は「職場の健康診断推進運動」月間
ドックの「待ち時間」に管理栄養士による栄養指導・相談 本会
個人情報保護法に対応する体制づくりを積極的に推進・本会
お知らせ

新年のごあいさつ

戦後60年の節目の年がスタートしました。日本社会は大きな転換期にさしかかり、さまざまな分野で従来型システムの見直しが始まっています。わたしたちも、そうした時代の要請に応え、人びとの生涯を通じた健康づくり支援のための地道な歩みを続けてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

財団法人東京都予防医学協会 役・職員一同